



特集

# 「小5 統一合判」 中学入試レポート vol. 1

## わが子にとってベストの 進学先を選ぶために！

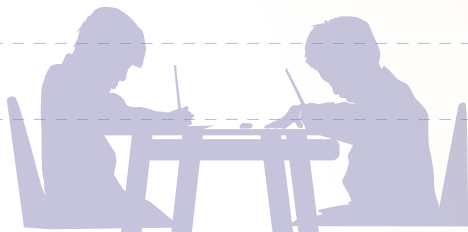
### 小学生の「5つの進路」から私立中高一貫校を勧める理由

再来年に中学受験に挑む5年生の皆さんにとっては今回がはじめてとなる「統一合判」テスト。緊張から本来の実力を発揮できなかった受験生も多かったのではないのでしょうか。

これから約一年半後に迫った「2019年中学入試」に向け、受験勉強もいよいよ本格化しますが、それと並行して進めていただきたいのが、お子様たちが受験する“学校選び”です。

今、日本の教育は3年後に迫った「大学入試改革」を節目に、大きく変わろうとしています。現小5生を子に持つ親にとっては、こうした“変化”を意識した学校選びが必要となります。

今回の入試レポートでは現在の日本の小学生が選択できる「5つの進路」を紹介するとともに「多様化する中学入試」と目前に迫った「夏休み」の過ごし方について紹介します。



首都圏模試センター

## 公立？私立？ わが子にとって最良の学校選びとは！？

5年生で中学受験を考えているご家庭では、すでに大学進学やその先を見据えた学校選びがはじまっているかもしれません。

しかし、今の時期は「この学校でなければ受験はしない」という極端な絞り方はせずに、広い視野を持った学校選びを心がけていただきたいものです。

保護者の皆さんが中学へ進学した時代に比べ、現在の小学生の進路はかなり多様化しています。

かつては、学区内の決められた公立の中学校に“試験なし”で進学するか、“受験”をして私立中学校、もしくは国立大学の附属中学校に進学するという、3つの選択肢でした。

しかし、2000年頃から各地方自治体ごとに進められた「学校選択制」や、1999年からスタートした公立中高一貫校の設置制度により、全国の多くの地域（都道府県や市区町村）では、この2つのタイプを含めた「5つの選択肢」が、卒業時に選べる選択肢となりました。

今回小5「統一合判」テストを受験した、ほとんどの生徒が、中学入学時に入試や適性検査などの選抜試験を課す「国立大学附属中学校」か「公立中高一貫校」、そして「私立中高一貫校」のいずれかを目指すと思われます。ではこの3つの選択肢にはどのような違いがあるのでしょうか。

## 国立大学附属中学校

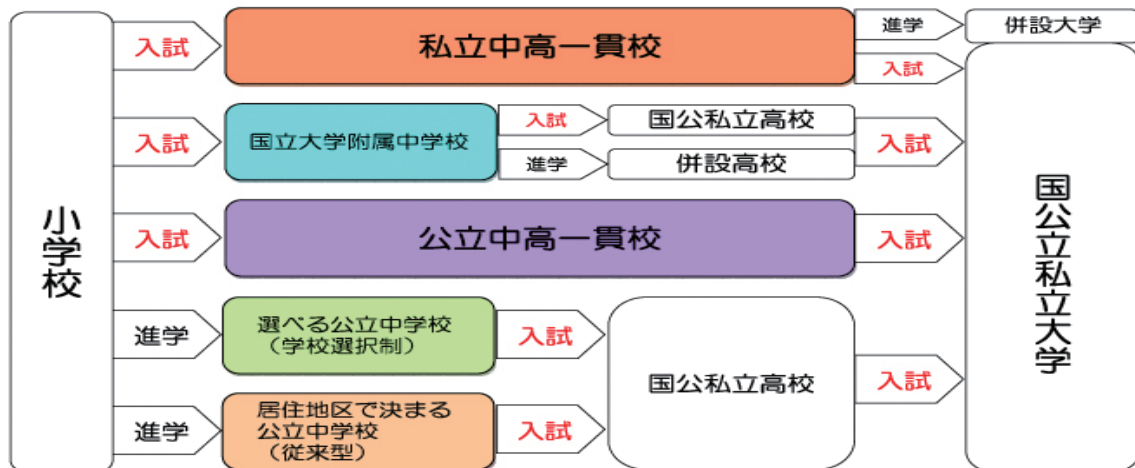
東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城の1都4県（以下、首都圏）には13校の国立大学附属中学校が存在します（2017年7月現在）。多くは国立大学の教育学部に属するものですが“附属”といってもその大学に優先的に入学できるわけではないので、注意が必要です。

国立中学校はおもに教育の研究や実習を目的として設置されました。そのため、在籍する教職員の中には、ある分野の専門家や教科書の執筆・編集に携わる教員も多く、教育レベルは高いものがあります。また公立中学校と同じく「義務教育校」として扱われるため、中学3年間の学費（入学金や授業料）が無償であることも、安定した人気につながっています。

しかし、中学から高校への進学ルートは各校により大きく異なります。●筑波大学附属駒場やいくつかの中等教育学校では、中高6年間一貫の体制をもつ学校もありますが、なかには○千葉大学教育学部附属や◎埼玉大学教育学部附属のように併設高校を持たない学校もあります。また◎東京学芸大学附属（小金井、世田谷、竹早）のように、合計推薦枠（約220名）が決められているため、高校進学の際には受験準備が必要となるケースもあります。

選抜方法については多くの学校が4科型の入試を採用していますが、◎筑波大学附属中学校では

## 小学生の「5つの進路の選択肢」





# 特集 わが子にとってベストの進学先を選ぶために！

小学生の「5つの進路」から私立中高一貫校を勧める理由

4科プラス音楽・図工・家庭科、◎東京学芸大学附属国際中等教育学校では外国語と日本語の作文（A方式）か、適性検査Ⅰ・Ⅱ（B方式）による入試が実施されています。適性検査については◎東京大学教育学部附属中等教育学校でも、すでに導入していますので、今後はこの傾向が広がる可能性もあります。

また国立中学校のほとんどが、住居による「通学区域制限」を設けています。検討前には居住区が条件に当てはまるのかを必ず確認しましょう。

## 公立中高一貫校

6年一貫体制を活かした無駄のないカリキュラムと質の高い教育内容、さらに大学進学実績も好調なことから、近年最も注目を集めているのがこのタイプの学校です。経済的な負担が一般の公立中高と同程度というのも人気の要因と言えるでしょう。

首都圏では24校（2017年7月現在）の公立中高一貫校が設立されていますが、現小学5年生が入試に挑む2019年には、さいたま市立大宮西高等学校の校地内に、県内初の中等教育学校◎さいたま市立中等教育学校（仮称）が開校予定です。

公立中高一貫校は大きく分けると次の3つに分類されます。

**1. 「中等教育学校」**は中高一貫教育が基本のため、高校からの募集はありません。そのため、6年間を有効に活用した柔軟なカリキュラムを組むことができます。一方で外部からの入学生がないため、やや刺激が少ない面があります。私立の一貫教育校に最も近いタイプと言えるでしょう。

**2. 「併設型」**は既存する高等学校に、新たに中学校を併設したもので、中学卒業後は入試を受けずに高校に進学することができます。このタイプは高校からも外部募集があるため、互いが刺激を受け合いながら、切磋琢磨できるというメリットがあります。ただし高校からの入学者との間に学力差が生じる場合があり、クラス編成の際の課題となっています。

**3. 「連携型」**は市町村立の中学校と都道府県立の高校が連携している学校で、中学入学時の選抜試験（適性検査）はありません。首都圏以外の地域

に多く、高校進学時に簡単な選抜が実施されますが、推薦枠などで優遇されるケースもあります。

1か2のタイプでは中学入学時に「適性検査」を実施します。通常の国算社理の入試とは異なり、科目の枠を超えた「総合的」な問題が出題されません。傾向としては記述を中心とした「表現力」「思考力」を測る問題の出題が多いと言えるでしょう。

また国立中学校と同様に公立一貫校の受検には「通学区域制限」があるので注意が必要です。

2005年の◎都立白鷗高等学校附属中学校の開校以来、多くの志願者を集めてきた公立中高一貫校ですが、ここ数年はやや落ち着いてきました。しかし、2016年に開校した◎千葉県立東葛飾中学校の高倍率に続き、2017年に開校した◎横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校にも男女計80名の募集に対して685名の志願者が殺到したように、いまだに多くの学校が高倍率（5～10倍）を維持しています。

つまり、公立中高一貫校への進学を考えているご家庭では、多くの受験生が“不合格”になることも念頭に入れた、慎重な「進路選択」が必要となります。

## 私立中高一貫校

今回の「統一合判」テストを受験した小5生の多くが、再来年の中学入試で目指すことになるのが、このタイプの学校です。

先に述べた「国立大学附属中学校」や「公立中高一貫校」は、設置校数が少なく、募集定員も小規模なため、毎年多くの志願者が集まります。また通学区域や応募資格にも一定の規定があるため、たとえその学校の教育に魅力を感じたとしても、「誰でも受験（受検）できる」わけではありません。



2017年に開校した横浜サイエンスフロンティア中学校の入試風景。

一方の私立中高一貫校は首都圏に302校(2018年中学入試実施予定校)。他のタイプに比べると圧倒的に設置校数が多いため、さまざまな視点からの学校選択が可能となります。

各校が創立以来の教育理念や校風を持ち、中高6年間を通じた独自のカリキュラムと多彩な授業で、生徒の「学力」と「人間力」を育むのが私立中高一貫校の最大の特徴です。

私学は「男・女・共学」や「校風(宗教系)」など、さまざまなタイプに分けることができますが、ここでは「大学付属校」と「進学校」についてご紹介します。

**1. 「大学付属校」**は中学から大学までの一貫教育を前提としている学校で、一定の条件をクリアすれば系列の大学に進学することができます。そのため、進学校に比べると大学受験に対するストレスが少なく、生徒たちはゆとりのある学校生活を送ることができます。

しかし、系列大学への内部進学の内容は各校により大きく異なるため、必ずしも全員が進学できるわけではありません。学部(医学部など)によっては内進枠が少なく(基準が厳しい)、希望学部に進学できない場合もあります。

また校名に大学を冠する学校でも◎神奈川大学附属や●東京都市大学附属のように、系列大への進学が少数派の「進学校的付属校」もあるので注意が必要です。

**2. 「進学校」**は併設の大学はありませんが、大学受験に的を絞って、独自のカリキュラムとサポート体制が充実しています。そのため、自分の努力次第では行きたい大学へ進学することができます。

学習進度や内容は各校により大きく異なりますが、多くの学校では高2までに高校課程の授業を終え、高3からは大学受験に向けた「演習」が中心となります。

進学校には面倒見が良い学校や自主性を重んじる学校などのさまざまな校風がありますのでお子様のタイプにあった学校選びが大切になります。

**3. 「半付属校」**は大学付属校でありながら、他大学受験にも力を入れている学校で「半進学校」とも呼ばれています。

併設大学への進学率は30%~70%と学校によ



校名は大学付属だが、生徒の大多数は他大学に進学する東京都大付属中学校。

り異なりますが、「大学付属校」と「進学校」の良い面を併せ持つことから、近年は高い支持を集めています。約半数が系列の大学に進学し、他の生徒も難関国公立大へ進学する●早稲田中学校や●学習院女子などは、その好例と言えるでしょう。

またこの動きとは逆のケースとして、理念や方向性を共有する大学と私立中高一貫校が、教育提携を結ぶ動きも増えてきました。東洋大学では2015年の◎東洋大京北(旧・●京北)に続き、2017年には●麹町学園女子と教育提携を結び、高大接続の円滑化を推進しています。

2016年に青山学院大学の系属校となり注目を集めている◎青山学院横浜英和(旧・●横浜英和女学院)も、来春2018年からは共学校となります。男子の募集が開始されることで近隣の学校にも大きな影響を与えることが予想されます。

このように単に「小学生の進路」と言っても、現在の小学生に与えられた選択肢は複数あります。「将来わが子にはどのような大人になってほしいのか」、「なぜ中学受験をするのか」。この機会に、家族でこれからの方向性を話し合い、わが子に合った「進路」を見つけてください。

## 新たな入試スタイルが続々と登場！ 中高一貫校でも多様な人材を求める時代に！！

お子様たちが約1年半後に挑む「中学入試」。中学受験の世界では、入試問題はその学校の「顔」と言われています。そこには各校の指導方針やカリキュラムが反映され、「どんな生徒に入学してほしいのか」というメッセージが込められているからです。しかし、この入試問題にもここ数年で変化が見えはじめました。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



# 特集 わが子にとってベストの進学先を選ぶために！

小学生の「5つの進路」から私立中高一貫校を勧める理由

今春2017年の首都圏中学入試の動向として、マスコミや教育関係者の間で騒がれたのが、「私立中学入試の多様化」です。

従来の国・算・社・理の4科目、もしくは国・算の2科目に加え、新たな入試科目や入試形態を導入する学校が増えてきました。

この動きは、すでに首都圏では24校となった公立中高一貫校の受験生が、少しでも私立中との併願がしやすいように、という配慮から生まれたものですが、一方で「2020年大学入試改革」に象徴される日本の“教育の変化”にも対応しています。つまり新たな大学入試に対応できる学力と将来の社会で求められる力を育成したい私立中高一貫校の“教育姿勢”をそのまま反映した動きとも言えるのです。

そのため「入り口」となる中学入試でも「思考力や表現力」を問う新たな入試形態が、この1～2年で急速に増加したのです。

新たな入試形態としては「適性検査型（公立一貫対応型）入試」や「英語（選択）型入試」をはじめ、「思考力入試」、「記述・論述型入試」「総合（合科）型入試」「自己アピール（プレゼンテーション）入試」などを実施する動きが目立ちます。

首都圏模試センターの集計でも、適性検査（思考力）型入試実施校が2016年の85校から2017年には120校、英語（選択）型入試も65校から95校に急増しています。

こうした新たな入試形態で求められる力や小学生の資質は、「21世紀型教育（次世代型教育）」や「世界標準（グローバル・スタンダード）の教育」、あるいは「探究型」授業、「アクティブラーニング」といった新たな学びのスタイルとフィットする側面もあります。そうしたことに気づき、中学入試段階では未完であっても、将来的には無限の可能性を持つ小学生を迎え入れ、その資質を育てたいと願う先進的な私学が、これまでとは違ったコンセプトの入試形態を新設するようになったのです。

女子の人気校●共立女子では2016年から2/4に「算数+合科型論述テスト」を導入。2017年には2/3（都内中高一貫校の入試日）にあえて実施することで、その独自性を打ち出すことに成功しました。さらに2018年からは「算数+英語イ

ンタラクティブトライアル入試」（2/3PM）を新設することを決定し、多彩な才能を持った受験生の獲得をめざしています。

同じく●品川女子学院でも来春から「算数1科目入試」（2/1PM）を新設。すでに導入されている「表現力・総合型入試」や「英検の取得級に応じて入試の合計点に加点する制度」も含め、入試の多様化を加速させています。この「英検加点制度」については埼玉の◎星野学園でも2018年から導入予定で、「英語は得意だけど、他の教科が…」という受験生には、ぜひ活用していただきたい制度となっています。

これら「新タイプ」の入試以外にも、従来から存在した「帰国生入試」や千葉県・茨城県の一部の学校で実施されている「推薦・第一志望入試」などが、近年増加傾向にあります。

2017年には千葉県でも屈指の難関校◎東邦大学付属東邦が「推薦」入試に初参入。男女30名の定員に対し、638名もの志願者を集めて話題を集めました。また2018年には◎成田高等学校付属が「第一志望」入試の新設を同校HPで発表しています。

このような入試の多様化は、比較的遅い時期から受験勉強を始めた、もしくは習い事やスポーツに一生懸命取り組んできた小学生とその保護者にとっては、新たな進路の選択肢が増えたという意味で、非常に歓迎されています。

さまざまな入試スタイルの変化に戸惑うのではなく、「入試の幅が広がった」と、この動きを前向きに捉えることで、わが子にあった学校と卒業後の社会を生き抜くためのヒントをみつけてください。



都内公立中高一貫校の入試日にあたる2月3日に「合科型論述テスト」を実施して注目を集めた共立女子。

## 私立中高一貫校の入試問題にチャレンジ！

近年の私学では、受験生たちの思考力や判断力を問うユニークな問題が出題されています。下記は2017年に千葉明德中学校で実施された適性検査型（思考力）の入試問題です。ぜひ親子でチャレンジしてみてください。

まなぶさんとようこさんは自由研究で虹について調べています。次の会話文を読み、あとの問いに答えなさい。

**まなぶ**：虹はいつ見ることができるのかな。

**ようこ**：雨上がりだよ。天気雨のときも虹が見えることがあるよ。

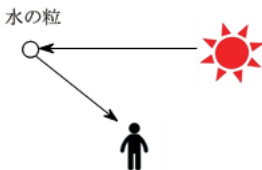
**まなぶ**：雨と虹は関係があるのかな。

**ようこ**：雨というよりも空気を作っている水の小さな粒(つぶ)に関係があるのよね。虹が見えるときには、空にたくさんの水の小さな粒がただよっているのよ。

**まなぶ**：水の小さな粒が、虹のできる条件ってことなの？

**ようこ**：そうなの。虹は、[図1]のように、太陽の光が水の小さな粒ではね返ったときにできるのよ。たくさんの粒があれば、多くの光がはね返るからきれいな虹が見られるのよ。

【図1】



**まなぶ**：そうか、だから①夏の夕立ちの後は遠くの空に大きくてきれいな虹を見ることができるんだね。雨が降ってすぐ晴れる夕立ちは、虹が作られるにはもってこいの条件ということだね。

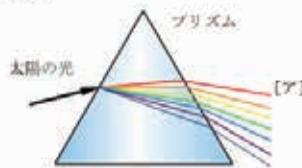
**ようこ**：ほかに、虹は天気予報のかわりにもなるんだよね。「朝虹は雨、夕虹は晴れ」ということわざがあって、これは、②朝方に虹が出ればその日は雨になり、夕方に虹が出れば次の日は晴れになることが多いという意味なのよね。このことは、太陽の昇り方と、日本上空の雲の動きを考えればわかるよね。

**まなぶ**：そうか。だから朝に虹をみると、その後は雨になるんだね。虹が天気予

報に使えるなんておどろいたな。でも、虹の色はどうやってできているのかな。太陽の光が虹の色になるってことなのかな。

**ようこ**：そうよ。プリズムって知ってる？

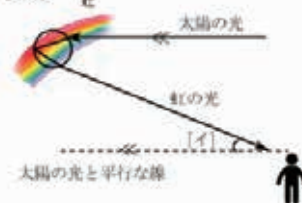
【図2】



**まなぶ**：知らないなあ。

**ようこ**：プリズムは、ガラスの透明な三角柱のことで、[図2]のように、太陽の光をプリズムにあてると光が虹色に分かれて見えるの。[図2]の中の[ア]は赤色の光で、色によってそれぞれ曲がり方が決まっているのね。虹の場合、[図1]の水の粒を拡大してみると[図3]のように、太陽の光が、水の小さな粒にぶつかって、粒の中ではね返ったり、入るときや出るときに曲がったりしているの。色によってその曲がり方が決まっています。色によってその曲がり方が決まっています。虹が見えるときは、[図3]の中の[イ]の角度の範囲は約40°～42°になっているのよ。

【図3】



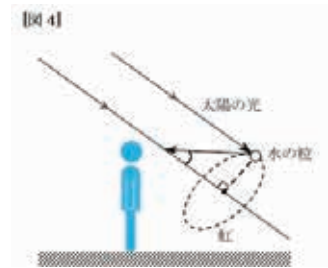
**まなぶ**：そうなんだ。だから、③虹は朝や夕方の方が昼間よりも見つけやすいんだね。光っておもしろいね。

**ようこ**：じゃあ、庭に出て虹を作ってみましょうよ。

**まなぶ**：用意するのはホースだけでいいね。

**ようこ**：今回は、ホースを動かして、水しぶきを作ってみましょう。

**まなぶ**：ホースの口をせばめて水しぶ



きを出せばいいね。いくよ。わっ、ぼくの目の前に虹ができていよ ([図4])。虹全体が見たいなあ。

**ようこ**：下の方は自分の影になってしまうから、虹全体は見えないわよ。でも、もし見えたとしたら、④虹は円形に見えるということよね。

**まなぶ**：でも、遠くの方に見える虹は[図5]のように半円をしているよね。

**ようこ**：[図4]の水の粒を遠くにしてみると虹の半分が地面よりも下にかくれるでしょ。

だから、半分くらいしか見えないのよ。

【図5】



**問1** 下線部①について、虹はどの方向に見えますか。次の中から記号で答えなさい。また、その理由を説明しなさい。

(ア) 東の空 (イ) 西の空

**問2** 下線部②について、朝に虹を見るとその日は雨になるのはどうしてですか。その理由を説明しなさい。

**問3** 下線部③について、昼間と比べて朝や夕方の方が見つけやすいのはどうしてですか。その理由を説明しなさい。

**問4** 下線部④について、虹が円形をしているのはどうしてですか。[図4]を参考に、その理由を説明しなさい。

問題の模範解答は

千葉明德中学校 検索



# 特集 わが子にとってベストの進学先を選ぶために！

小学生の「5つの進路」から私立中高一貫校を勧める理由

## いよいよ夏本番！ 5年生にとっての、夏休みの上手な過ごし方！

夏休みは、約40日間もまとまった勉強時間がとれる、中学受験生にとっては大切な時期です。中学受験に挑んだ先輩たちの多くが、あとでその時期を振り返り「よく頑張ったなあ…」とか「あんなに勉強した時期はほかにはなかった！」と言うように、この夏休みの過ごし方や努力が大きな意味を持つことは間違いありません。

しかし、小学5年生の皆さんにとっての夏休みは受験勉強以外にも、普段ではできない貴重な体験ができる時期でもあります。せっかくの長期休暇なんだから、家族や友だちと一緒に過ごす時間も大切にしたい、スポーツや習い事もこのまま続けたいと思うお子さんもきっと多いはず。そこで課題となるのが「勉強との両立」です。

夏休みを上手に乗り切るコツは「無理な計画を立てない」こと、そして「リズムをつくる」ことです。

もともと大人と子どもでは時間に対する体感速度が異なります。大人は歳を重ねるにつれて月日が経つのを“短く”感じるようになりますが、知識も経験も少ない子どもたちは、我々が考えている以上に、1年を“長く”感じているものです。

あまり意気込んで、「あれも、これも…」と課題を増やし過ぎては、かえって逆効果。小5の今の時期はあまり手を広げ過ぎず、実現可能な課題から、取り組む姿勢が大切です。

夏休みはこれまでに学習してきた「知識」や「技法」を使って演習に取り組み、基礎力を定着させることができる時期でもあります。だからこそ「焦らず」「欲張らず」「実現可能な計画」を立てて、毎日少しずつ達成感を感じられるような学習リズムで過ごすようにしてください。

また、そうした学習計画は、完璧にこなさなければいけないものではなく、そのときどきの状況によって見直すことも大切です。

この夏休みを効果的に乗り切ることができれば、来年迎える「小6の夏休み」の計画も組みやすくなります。この夏休みは、子ども自身が、やる気や日々の達成感を少しでも感じられるようにサポートしてあげてください。

## 塾の夏期講習で力を伸ばすには？

塾の夏期講習では、さまざまな演習問題に取り組むことを通じて、これまで学んできたことを「使える力」として定着させることを狙いにしているケースがほとんど。それだけに、夏期講習の開始までに、自分が苦手なところ、不得意なことは何かを明らかにしておきたいところです。そして、塾の夏期講習のテキストや資料を見て、この夏休み前に、いつ、どのような分野・単元を学習するのかあらかじめつかんでおけば、自分の課題に沿った努力目標や、がんばるべきポイントもわかってきます。

夏期講習の授業では、できれば前日までに、今回はどの単元を学ぶのかを確認したうえで、授業に臨むようにしてください。これまでにその単元や範囲を学んだテキストやノートを見直して、自分が学んだことを思い起こすことができれば準備は万全です。

それは「予習」とは違って、これまでの自分の学びを振り返り、新たな課題に取り組む「気持ち」の準備を整えることにもなります。自分が学習で身につけてきたことや、不足していることを、自分自身の課題として見つけることができるのも、長い夏休みならではのメリットとなります。

また、夏期講習は多くの場合、問題演習が中心になるため、子どもたちは自分の解答が「○か、×か？」ということに気をとられがちになります。しかし、大切なことはそうした問題への取り組みを通して、自分が「どのように考えたのか」「なぜ、そういう考え方（解き方）を選んだのか」を確認することです。それが基礎・基本を使える力にするためのもっとも確実な学習方法になります。

小5の夏休みは  
基礎力を固める絶好の機会！  
無理のない学習計画を立てて  
規則正しい生活を  
心がけよう！



## 学校説明会では、こんなことがわかる！

～何より私学の熱意と将来性を確かめよう～

毎年、夏休み～秋にかけて、私立・国立中高一貫校では、学校説明会やオープン・キャンパス（学校見学会）、体験授業などのさまざまな行事が催されます。受験生と保護者にとっては「直に学校を知る（見る）」ことができる絶好の機会であり、「学校を選ぶ目」を養う最良の方法です。まだ時間的にゆとりのある小5の時期だからこそ、是非、足を運んでみてください。

とりわけ、「学校説明会」は、各学校の考え方や、具体的な指導内容を知ることができる機会。ここでは簡単にそのポイントをご紹介します。

### ●私学の「説明会」で話される4つの柱

#### 1. 「教育理念・教育方針」と「目標・将来展望」

～保護者の考えや期待と合うかどうか？

#### 2. 「中高6年間の学習指導・カリキュラム」

～わが子の力をどう伸ばしてくれるか？

#### 3. 「入試状況・出題傾向」

～どういった入試が行われるのか、またそこではどういった力が問われるのか？

#### 4. 「進路指導と進路状況（進学実績）」

～将来の進路に向けての指導内容・体制は？またこれまでの進学実績と今後の期待値・目標値は？そして3年後に迫る「2020年大学入試改革」への対応をどのように考えているかにも注目！

私学の説明会では、一般的にこの4つを軸に話が進められます。いずれも各校の教育内容を見極めるうえでは非常に大切なこと。好印象を受けたことや疑問に思ったことは、しっかりメモに残して、最後に受験校を絞り込むときの参考にしましょう。

そして、これらの話のなかで、いま注目したいのが、「2020年大学入試改革」への対応と、現在の子供たちが社会に出る新たな時代を各私学がどう読み解き、この日本の教育が変わる節目に、将来に向けてどういった力を生徒に身につけさせ、育てようとしているのかを確かめることです。

ここで、意識しておきたいことは、その話の内容や先生方の姿勢から、その学校の“熱意”や“将来性”を感じ取れるか、ということです。この点は、世間の評価や噂話からではなく、やはり「親が自分自身で確かめる」ことが大切となります。これらの説

明のあとには、「質疑応答・個別相談」や、「校内見学・授業見学」ができるケースもありますので、わからないことはその場で遠慮なく質問するか、あるいは後日、学校や塾に問い合わせて確認しましょう。

また、こうした学校見学の機会を通じて、次のような点も要チェックです。

**1. 受付や先生の対応は親切か？**（学校の体質や先生方の熱意を確認！）

**2. 在校生の服装や言動は？**（学校の雰囲気、生活指導、しつけを確認！）

**3. 施設や設備の充実度は？**（華美でなくとも、生徒本位に工夫された環境かどうか？）

**4. 防災対策（耐震等）や被災時のための備えは？**（いざというときの安全性を確認！）

**5. 学校までの利用交通機関と周辺環境は？**（利便性、安全性を確認！）

とくに4の「防災対策」については、先の震災時の対応なども参考にして、各校の姿勢を確認しましょう。

また、今後の日本の教育の変化を象徴する「SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校や「SGU（スーパーグローバル大学）」とのつながり、「日本語IB（国際バカロレア）」の導入など、“教育のグローバル化”の動きも加速しています。各私学がどのようなグローバル（国際化）教育をめざしていくのか、さらには21世紀型スキルともいわれる「新たな時代に求められる力」を育てていくために、各私学がどのような授業スタイルや教育プログラムを導入しているのにも是非注目してみてください。



国際バカロレア（IB）の中等教育と日本教育の融合を目指す学校として注目されている。